



第55号

## 木曾川町連区



# 地域づくり協議会だより

【発行日】令和4年12月1日 【発行者】木曾川町連区地域づくり協議会  
〒木曾川町内割田一の通り27(一宮市木曾川庁舎内) ☎84-0005  
【メールアドレス】k-chiiki@orihime.ne.jp  
【ホームページ】<http://138kisogawa.org> 木曾川町連区で検索してね♪



↑  
こちらからどうぞ

### みんなが笑顔になる学校に

黒田小学校 校長 柴田 泰子

「おはようございます。毎日ありがとうございます。」  
「今日は、いいお天気ですね。」

毎朝、登校指導をしていると、地域の方からよく声をかけていただきます。とてもうれしいです。

本年度創立150周年を迎えた歴史のある本校は、そんなあたたかな地域の方々に支えられたすてきな学校です。555人の子どもたちは、明るく元気に勉強にも運動にも一生懸命取り組んでいます。



運動場で見つけたどんぐりを校長室に持ってきてくれる子や、授業中、廊下を通るわたしにこっそり手を振ってくれる子もいて・・・本校に赴任できたことを毎日しあわせに思っています。

わたしは、ディズニーランドが好きです。子どもにも大人にも障害がある人にも配慮があり、みんなが笑顔で過ごせる所だから好きです。学校もそんな場所になったらいいなと考えています。

全職員で力を合わせて、子どもたちはもちろん、保護者や地域の方々も笑顔になる学校をめざします。いつもあたたかく見守っていただいて、本当にありがとうございます。

### こども食堂キャラバンinきそがわ

9月18日(日)台風の影響の考えられる中、木曾川庁舎にてNPO法人元気ふれあい倶楽部主催で「こども食堂キャラバンinきそがわ」が開催されました。当日は同じ木曾川町内で「一豊まつり」が開催されており、木曾川町内一日にぎやかな日となりました。このNPO法人は2021年設立。「こども食堂キャラバン」は一宮市100周年チャレンジ事業として採択され、「知育・食育・体育」をテーマに、市内23連区を活動範囲とし活動しています。

14時～15時を「知育の部」とし、明治安田生命さんの「お金と仲良くなる方法」、花王さんからは「正しい手洗い消毒の方法」の講習が行われました。今回開催にあたり、木曾川町内の小中学校全生徒にチラシを配布し、事前に予約11組27人の小中学生が参加しました。帰りに麵屋天空さん提供のカレー弁当と、たくさんの食材のお土産を手に、みなさん重い重いと笑顔で帰って行かれました。

14時30分～16時30分までは「食育の部」とし、「みんなでSDGsを考えよう！フードパントリー（食材配布）」が庁舎玄関前で行われ、97組206人もの子どもたちが受け取りに来ました。食品業界では「3分の1ルール」という習慣があり、賞味期限の3分の2を経過した食材は売り場から撤去されます。その後廃棄されるであろう、そういった食材を企業から寄付して頂いたものを配布しています。これを機会にみなさんも、すぐに食べる物は賞味期限の近いものから買うとか、消費出来る範囲で余分な量を買わないなど、フードロス削減に繋がるような生活を考えるてはいかがでしょうか。

今回、開催にあたり民生児童委員協議会から6名、木曾川中学校さんかく倶楽部から9名のボランティアの参加がありました。木曾川中学校さんかく倶楽部とは、同校で生徒、保護者、学校などの支援活動をしている団体です。お揃いのピンクのポロシャツを着て活動をしているそうです。両団体とも、ボランティアありがとうございました。

## 「一豊まつり」に参加して

木曾川町は、有名な武将・山内一豊が生まれた地であることから、毎年9月の第3日曜日に市民の手によって「一豊まつり」が開催されています。メインとなるイベントは、甲冑に身を包んだ一豊公とその妻お千代のパレード。華やかな時代衣装に身を包んだ人々が、木曾川町のメインストリートを練り歩きます。メイン会場は黒田小学校ですが、サブ会場としてイオンモール木曾川、アピタパワー木曾川店もあり、木曾川町あげての大きなお祭りです。ここ2年はコロナの影響でやむを得ず中止となっていましたが、今年は3年ぶりの開催ということで、楽しみにしていた方も大勢いらっしまったと思います。ところが、今年は台風の予報でいろいろな変更がありました。商工会の方はその対応に大変だったと思います。「楽市楽座」の出店も中止になり、「鮎のつかみ取り」も中止。「働くクルマ大集合」も「乗馬体験」も中止。女性部の「小物の販売」も中止になってしまい、とても残念でした。しかし、その中で3年ぶりに300人近くの戦国時代のパレードが出来たことは、本当に良かったです。また「西瓜千人斬り」は実行され、皆様に美味しい西瓜を食べていただけた事も良かったです。ちなみに「西瓜千人斬り」のイベントは今年初めて行われました。



私は木曾川商工会女性部として参加しました。私達女性部はスタッフとして、パレード出演者の接待、隊員への給水、スタッフ昼食の仕分けなどを担当しますが、今年はスタッフの人数が少なく、人手不足だった所、中学生のボランティアの生徒さん達に助けいただきました。大勢来てくださった方々とたくさん子ども達と共に、事故もなく無事に終わることが出来ました。「一豊まつりが楽しかった」と子ども達の心の中に残ってくだされば、本当にうれしく思います。来年こそは、全てのイベントが開催されますますにぎやかなお祭りになることを楽しみにしています。

～参加者された 川畑 光子さんより～

## 第4回「雀のお宿野外音楽祭」を開催しました

活気部会 川井 節男

10月23日(日)すばらしい秋晴れの下、木曾川町連区地域づくり協議会・イタセンパラ生息地保存会主催『第4回雀のお宿野外音楽祭』が開催されました。

会場となった「雀のお宿(木曾川緑地)公園」付近は歴史的には北原白秋が名付けた児童養護施設「雀のお宿」のあった場所であり、イタセンパラの生息地・コハクチョウの飛来地で自然の豊かさにもあふれた場所です。こういった歴史や自然に触れてもらうことこそ、この野外音楽祭の開催目的です。



開会直後は強い陽射しが照り付け、汗ばむ陽気でしたが、プログラムが進むにつれて会場には木曾川を渡る爽やかな秋風が吹き抜け、野外音楽祭ならではの雰囲気になりました。

今回の出演は・・・

- ① TO BE SURE
  - ② 一宮児童合唱団きそがわKIDS
  - ③ 木曾川ライトソングクラブ
  - ④ 小塚謙一
  - ⑤ THE BISHU JAZZ ORCHESTRA
- (出演順)の5団体♪

ブルース・ポップス・フォーク・ジャズ・合唱など、さまざまなジャンルの音楽を演奏していただきました。また、踊りのパフォーマンスや観客と一緒に歌う場面もあり、会場に訪れた人々は楽しいひと時を味わっていました。



演奏の合間には、子どもたちが「雀のお宿」をテーマにしたクイズラリーに挑戦し、親子でクイズを解きながら、地域の歴史や自然を学ぶ機会となりました。また、オープニングや幕間では、今回も「雀のお宿チンドン隊」が登場しました。今まで以上にバージョンアップしたパフォーマンスで、途中から飛び入りの子どもたちもチンドン隊に加わり、大いに盛り上がりました。

ステージにはLED照明が設営され、最終プログラムの頃には、ライトアップされたステージ上で、ジャズの調べがよりムーディーに演出されました。

来場者の皆さんに音楽祭を楽しんでいただくために、会場設営、音響、駐車場整備や案内、飲料の販売など、運営に関わる実に多くの仕事があります。主催者以外にも、里小牧区町会長会、木曾川緑道を守ろう会、木曾川文化・スポーツクラブ、木曾川文化創造ワークショップなど、たくさんのボランティアの方々を支えていただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。大変ありがとうございました。



# 『Junior Talk in Kisogawa 2022』... こんな意見が!!

活気部会長 平林 哲也

8月に実施を予定していた“Junior Talk in Kisogawa 2022”は、コロナの感染拡大のため、各自の意見をレポートにまとめて提出してもらいました。今年度は、町内小中学生29名が参加してくれました。実際のTalkができなかったのはとても残念ですが、提出されたレポートには、子どもたちの目線でとらえた木曾川町の課題や問題点が的確に記され、それに対する解決策や行動が提案されていました。提出されしレポートの一つ一つに目を通し、子どもたちの意見や考え方を整理してまとめてみました。すると、大きく5つの視点に整理分類できました。

- ①美しい環境のまちにしたい!
- ②安全・安心のまちにしたい!
- ③心あたたかなまちにしたい!
- ④「木曾川町と言ったらこれ!」と言えるものがあるまちにしたい!
- ⑤子どもの意見を取り入れるまちにしたい!

それぞれに細かな視点が示され、そのために必要なこと、自分たちでできることが具体的に書かれていました。



まとめながら、Junior世代も立派な考えや意見を持ち、将来の地域の担い手として頼もしく感じました。参加してくれた小中学生のみなさん、ありがとうございました。

## ～ 一宮市制100周年をお祝って ～

昨年2021年は、旧一宮町が市制を敷き、一宮市になってから100周年の節目の年でした。その間、木曾川町も尾西市といっしょに2005年(平成17年)に一宮市の仲間入りしたことは皆さんご存じのことです。このことを受けて市全体でお祝いをしようという機運が高まり、すでにいくつかの連区でお祝いの行事が開催されました。わが木曾川町連区は本年度お祝いすることにいたしました。

一宮市制施行100周年の区切りを記念し、これからも一宮市がさらに発展することを願ってハナミズキの苗を皆さんで植えることにしました。ハナミズキは一宮市の「市の木」です。(平成18年7月25日、市民投票により制定、市の花はキキョウ)お祝いするとともに花いっぱい町、心安らぐ連区の活動につなげたいものです。10月29日(土)に、市北保健センター南の公園で植樹会を開催しました。八木市議会議長さんと後藤市議会議員さんをお迎えして少人数ながらも和気あいあいと3か所で植樹を行いました。コロナ禍という時節柄、大勢の方々にご案内ができなかったことが心残りですが、連区内9区ともそれぞれ区長さんを中心に植樹。4小中学校には、紅白のハナミズキを植樹していただきました。計20本のハナミズキの花が、毎年4月5月に咲き誇ってくれますように。

### 【植樹した場所】

- 門間→伊富利部神社
- 南黒田→白山神社
- 北黒田東部→籠守勝手神社
- 北黒田西部→西小路ちびっこ広場
- 内割田→内割田北公民館
- 東割田→東割田公民館
- 西割田→きそがわ幼稚園
- 玉ノ井→賀茂神社
- 里小牧→緑道の散歩道
- 植樹の会→市北保健センター南の公園
- 学校関係→木曾川中学校・黒田小学校・木曾川西小学校・木曾川東小学校

